

## 第2次日野市スポーツ推進計画（素案）に対する意見募集の結果について

### 1 パブリックコメント募集の実施概要

- 意見募集期間 令和4年12月12日（月）から令和5年1月10日（火）まで
- 周知方法 広報ひの、市ホームページ、市LINEによる配信
- 閲覧場所 文化スポーツ課、七生支所、豊田駅連絡所、市政図書室、市内各図書館、日野市市民の森ふれあいホール、日野市立南平体育館
- 受付方法 文化スポーツ課へ持参、郵送、ファックス、電子メール、申込フォーム

### 2 計画（素案）への意見と市の考え方、計画への反映方針

- 意見数 意見者 2名、件数 37件

※素案該当ページは、素案に記載されているページ数です。総データのページ数が記載された意見に関しては、ページ数の相違がございますが、同一か所となります。

項番	素案 該当ページ	意見（原文のまま記載）	市の考え方	計画への 反映方針
1	全体	「全ての」（漢字）と「すべての」（ひらがな）とが混在して使用されているので、全て「全ての」（漢字）に統一してはいかがでしょうか	同一文言の漢字、ひらがな表記の混在は、ご指摘のとおり統一いたします。	左記のとおり、修正いたします。
2	2など	2ページ目など、計画全体で、名詞として用いる「取り組み」は「取組」と表記を統一するのはいかがでしょうか。	同一文言の漢字、ひらがな表記の混在および、名詞、動詞においての使い分けは、ご指摘のとおり統一いたします。	左記のとおり、修正いたします。
3	3、8など	3ページ目、「（以下本計画とする）」は「（とする。）」と句点を付けるのが適切と考えますが、いかがでしょうか。また、本文の文末に合わせて、ですます調（「とします。」または「といたします。」）にするのはいかがでしょうか。8ページ目なども同様の意見です。	括弧内の文章についても、「句点」および「ですます調」を使用し、ご指摘のとおり統一いたします。	左記のとおり、修正いたします。

4	4、45、51、66	4ページ目の「更にスポーツには～」の「更に」などは接続詞なので「さらに、スポーツには～」とひらがな表記がよいと考えますが、いかがでしょうか（51、66ページなどの「更に」も同様です。反対に、45ページの「さらなる」は副詞なので「更なる」と漢字で表記するのがよいと考えます。）	同一文言の漢字、ひらがな表記の混在および、接続詞、副詞の使い分けは、ご指摘のとおり統一いたします。	左記のとおり、修正いたします。
5	5、6など	5ページ目などでは「位置づけ」（ひらがな）と表記し、6ページ目などでは「関連付け」（漢字）で表記されています。どちらも「付け」（漢字）に統一するのはいかがでしょうか	同一文言の漢字、ひらがな表記の混在は、ご指摘のとおり統一いたします。	左記のとおり、修正いたします。
6	48など	48ページなど、「～して参ります」「～していきます」が混在していますが、何らかのルールに基づいて使い分けしているのでなければ、「～していきます」に表現を統一するのはいかがでしょうか。（もし「～して参ります」という表現を引き続き用いる場合は、補助動詞なので「～してまいります」とひらがな表記が良いと思います。）	表現の混在については、「～していきます」で統一し、該当箇所を修正いたします。	左記のとおり、修正いたします。
7	51、55など	51ページ、55ページなどで、「在り方」と「あり方」が混在して使用されています。全て「在り方」に統一してはいかがでしょうか	同一文言の漢字、ひらがな表記の混在は、ご指摘のとおり統一いたします。	左記のとおり、修正いたします。
8	2	2ページ目、「遂げる」は、「非業の死を遂げる」などの用法もありますが、ポジティブな文脈で使用することが多い印象なので、ここでは「急速に進行し、」とするのはいかがでしょうか。	表現についてよりわかりやすい文章にするため、見直しを行います。	ご意見を参考に表現を修正いたします。
9	3	3ページ目、「子どもの送り迎え」ですと、子どもの送り迎えをする行為がスポーツ活動であると読めますが、そのような意図でしょうか。「スポーツ活動をする子どもの送り迎え」という意味であれば、それが分かる表現が望ましいと思いますが、いかがでしょうか	表現についてよりわかりやすい文章にするため、見直しを行います。	ご意見を参考に表現を修正いたします。

10	4	4ページ目、一行目「こたえる」は、文脈からして「応える」がよいと思いますが、いかがでしょうか	表現についてよりわかりやすい文章にするため、見直しを行います。	ご意見を参考に表現を修正いたします。
11	13	13ページ、コラムの「マップでは～4つで構成されて～」は「マップは～4つで構成されて～」の方が文脈的に適切だと考えますが、いかがでしょうか	表現についてよりわかりやすい文章にするため、見直しを行います。	ご意見を参考に表現を修正いたします。
12	22	22ページ、コラム5について、各段落の文頭は1字下げた方が読みやすいと思いますが、いかがでしょうか	ご意見をいただいたコラム5については文頭を1字下げております。コラム4についてもより見やすいレイアウトとするために、見直しを行います。	ご意見を参考に修正いたします。
13	46	46ページの「「スポーツのまち日野」を実現するには、～事業を進めていきます。」は文のつながりに違和感があるので「「スポーツのまち日野」を実現するには、～事業を進めていく必要があります。」や、「「スポーツのまち日野」を実現するために、～事業を進めていきます。」といった表現がよいと思いますが、いかがでしょうか	表現についてよりわかりやすい文章にするため、見直しを行います。	ご意見を参考に表現を修正いたします。
14	48	48ページの「日野市公共施設等管理計画」の「公共」の字が小さくなっているため、フォントサイズを統一してはいかがでしょうか	フォントサイズにミスがあったため、修正いたします。	左記のとおり、修正いたします。
15	52以降	52ページ以降の具体的施策、推進担当などが記載された表について、個人的にはここが計画の中の一番重要な部分だと思えます。しかし、他のページは比較的色彩鮮やかなのに対して、この表はモノトーン調で、あたかも巻末資料や索引などのレベルに見えてしまいました。過度に明るい色でカラフルにすると、目がチカチカして文字が読みにくくなることへの配慮があると思いますが、適度な色彩を取り入れると、より見栄えが良くなると思えます。	見やすく、親しみやすいデザインとするため見直しを行います。	ご意見を参考に修正いたします。

16	52	<p>52ページの「南平体育館では、年に一度幅広く市民に開放するイベントを検討する。」について、修正意見ではありませんが、せっかく建てたきれいな施設なので、活用機会の拡大のため、是非具体的なイベント開催等のご検討をお願いいたします。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。南平体育館は令和4年度にリニューアルオープンし、同年度9月に南平体育館フェスタとして、アリーナ、トレーニングルームの無料開放やヨガ、ボルダリングの体験会など広く市民の皆さまにご利用いただけるようイベントを開催いたしました。</p> <p>今後も市民の皆さまのご意見も踏まえながら、南平体育館を広く活用いただけるイベントを検討してまいります。</p>	<p>市の考え方は左記のとおりとなりますので、ご意見として受け止めさせていただき、計画素案の変更等はありません。</p>
17	52	<p>また、同じページの「コロナの影響により、テレワークが増えた働き世代や、子育て世代の運動不足を解消するため、通勤時間や休憩時間等を活用した運動の機会を創出する。」についても、大変興味深く感じたので、是非取組の推進をお願いいたします。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。本具体的施策に則り、今後取り組んでまいります。</p>	<p>市の考え方は左記のとおりとなりますので、ご意見として受け止めさせていただき、計画素案の変更等はありません。</p>
18	53	<p>53ページの「地域のスポーツ関係団体、企業、大学などと共にスポーツを活用した地域課題の解決を図る。」について、課題の解決を図るために、何をすることが分かりませんでした。</p> <p>「～解決を図るために、（学校課が）〇〇します（〇〇を検討します）」といった形にするのが望ましいと思います。なお、大学のみならず、地域のスポーツ関係団体や企業も巻き込んで行う施策の推進担当（主管課）が学校課（だけ）というのに、若干疑問があります（ここでいう地域課題とは、学校内での課題のみを指しているのでしょうか。）。</p>	<p>まず、本施策は子どもへの施策となるため、基本施策「1-イ子どもが楽しむスポーツの推進」に記載場所を変更いたします。</p> <p>また、解決を図るための具体的な課題等を概要欄に加筆・修正させていただきます。</p> <p>併せて、推進担当については、教育部局と市長部局で連携をして事業を推進していくために「文化スポーツ課」を追記します。</p>	<p>左記のとおり、修正いたします。</p>

19	54	<p>54ページなどで「子どもが楽しむスポーツの推進」の副題に &lt; Sport in Life &gt; が掲げられていますが、これはスポーツ庁の Sport in Life プロジェクトの関連施策という意味でしょうか？ その場合は、その旨の注釈などがあると良いと思います（なお、スポーツ庁のホームページの参画団体一覧に日野市は掲載がありませんでした。）。一方、当該プロジェクトと関連がない場合は、当該プロジェクトと関連があると誤認するおそれがあるほか、この施策名のみ英語の副題が添えられているのは、他の施策名とのバランスが取れていないように感じます。</p>	<p>こちらの内容については、スポーツ庁のおこなう「Sport in Life プロジェクト」の意味合いとして記載をしておりませんでした。 また、「Sport in Life」という言葉自体が子どもに特化したものではなく、全体に対しての言葉であることから削除いたします。</p>	<p>左記のとおり、修正いたします。</p>
20	63	<p>63ページの「広報媒体を活用した健康・スポーツ情報の発信」について、不要な改行があるためか、一行空白ができていますので、その空白を消した方が良いと思います。</p>	<p>体裁ミスのため、修正いたします。</p>	<p>左記のとおり、修正いたします。</p>
21	64	<p>64ページの「～若者に人気の種目とのことです。」について、「とのこと」と伝聞調になっていると、「ただ誰かに聞いただけの情報で、市としてはこれらのスポーツの動向を主体的に把握していない」という印象を与えるおそれがあると思います。 「～人気の種目です。」と言い切れる状況であるのであれば、その方が良いと思います。</p>	<p>表現についてよりわかりやすい文章にするため、見直しを行います。</p>	<p>ご意見を参考に表現を修正いたします。</p>

22	65	<p>65ページの進行管理に関して、数値化できる施策は出来る限り進行管理の対象としてPDCAサイクルに載せることで、施策の実効性を高めることができると考えます。この点、「指導者の育成・派遣（健康体操サポーター）」における、健康体操サポーターの人数や「小中学校の施設利用者数」、「障害者スポーツに関心があるか」の質問における関心ある人の割合、などは数値目標を設定できるのではないかと思いましたが、目標値を設定できないでしょうか。</p>	<p>①「指導者の育成・派遣（健康体操サポーター）」については、必要な人数の維持を継続していきますが、年度ごとで辞退者の人数に差異があるため、人数の増加について具体的な数値を設定することが困難なため、設定いたしません。</p> <p>②「小中学校の施設利用者数」については、学校開放は、あくまで教育課程以外で空いている時間において貸出を行うものであるため、学校開放の数値目標を設定してしまうと本来の使用目的を阻害してしまう可能性があります。そのため、目標数値は設定いたしません。</p> <p>③「障害者スポーツに関心があるか」は、アンケート調査の結果であり、数値目標については設定いたしません。</p>	<p>市の考え方は左記のとおりとなりますので、ご意見として受け止めさせていただきます、計画素案の変更等は行いません。</p>
23	71	<p>71ページの「18:30より」について、「公用文作成の考え方（建議）」では、「時や場所の起点を示すには「から」を用いて、「より」は用いない。「より」は、比較を示す意味もあるため、紛らわしい。」とされていることを参酌すると「18:30から」が良いと思います。</p>	<p>表現についてよりわかりやすい文章にするため、見直しを行います。</p>	<p>ご意見を参考に表現を修正いたします。</p>
24	2	<p>P6.改めてスポーツが「人々の心を動かす力」や「楽しさ」という感情を湧かせることが再確認できました。 →再確認できたとするデータやエビデンスをトピック等にて示されてはいかがでしょうか。</p>	<p>スポーツ庁の第3期スポーツ基本計画本文P11～13を参考にこちらの文章を記載させていただきました。また、この内容については、データなど数値的なデータを表す構成ではないため、追記は行いません。</p>	<p>市の考え方は左記のとおりとなりますので、ご意見として受け止めさせていただきます、計画素案の変更等は行いません。</p>

25	3	<p>P7. (e-Sportsについて) 現時点では具体的施策として展開することが難しいことから →難しい理由を示していただきたいです。eスポーツは高齢者向けのコミュニケーション手段、ボケ防止などの福祉面への効用が期待されている面もあり、積極的に取り入れる自治体がある中、日野市は何故施策展開しないのかが腑に落ちません。5年計画として考えたとき、eSportsは自治体でも有益な活用コンテンツ・スポーツに発展している可能性を想定しても良いと思います。少なくとも、将来的な活用を視野にいたした計画とすることを示唆しても良いかと思います。 参考) 「eスポーツ×自治体」による地域活性化の実例7選を紹介!   Pacific Meta マガジン (espo-game.jp) <a href="https://espo-game.jp/article/esports/72752/">https://espo-game.jp/article/esports/72752/</a></p>	<p>現在、いくつかの自治体では、「e-Sports」を通じて、ITや新技術を積極的に取り入れ、スポーツビジネスの成長産業化やまちの活性化を図る動きがあることは認識しております。策定委員会でもメリットやデメリットなど議論してまいりました。 本計画では、具体的施策No.25スポーツDXの活用の中で、ご指摘にあるような健康や福祉的な分野について、デジタル技術を活用した支援ができるよう検討してまいります。 なお、DXの推進は市民生活の利便性向上や観光活性化など、あらゆる面で活用すべきものと考えております。「e-Sports」の活用による、スポーツの新たな広がりにも注視しながら、具体的施策として展開できるか今後の課題とさせていただきます。</p>	<p>市の考え方は左記のとおりとなりますので、ご意見として受け止めさせていただきます、計画素案の変更等はありません。</p>
26	4	<p>P8.市民が～期待されています。→この効能・効用を2段落目に入れると、自治体や国の為にスポーツをしてほしい。という示唆に感じてしまいました。個人の為、家族の為、コミュニティの為、市の為、国の為と、市民個人を起点にスポーツの効能・効用(価値)を示すほうが、腹落ち・納得感があるのではないのでしょうか。最後にそれらの価値を市としてどう捉えているのかを示す構成ではいかがでしょうか。</p>	<p>表現についてよりわかりやすい文章にするため、見直しを行います。</p>	<p>ご意見を参考に修正いたします。</p>
27	16	<p>P16. 図17 (他多数) →サッカーとフットサルを同一スポーツとして捉えている理由は何でしょうか。異なるスポーツとして発展してきた背景からも、同一視すべきではありません。同一視する場合には、「フットボール」と示すべきと考えます。</p>	<p>令和2年におこなったアンケート調査を作成した際に「サッカー」と「フットサル」をまとめて聞いていたため、本計画書でもこのような記載となりました。 次期計画の調査をおこなう際には、調査項目の内容について再度検討して参ります。</p>	<p>市の考え方は左記のとおりとなりますので、ご意見として受け止めさせていただきます、計画素案の変更等はありません。</p>

28	18	P20.支える人のデータについて →現在取得されているデータでは不足しているのではないのでしょうか。今後、部活民営化等を見据え、日野市に在住している指導者資格を有する方々のデータも把握すべきと考えます。	コラムの中に記載をした支える人のご紹介については、あくまで一例となります。 今後、部活の地域移行の状況を把握しながら、学校課と協働して、指導者の方の情報収集に努めて参ります。	市の考え方は左記のとおりとなりますので、ご意見として受け止めさせていただき、計画素案の変更等はありません。
29	39	P39. 日野市のスポーツを支える人びとについて →プロスポーツ団体と積極的に協業・協働し、市のスポーツ振興に取り組むべきと考えます。プロスポーツ側も自治体との連携は強く望むところであり、プロスポーツ団体を持たない自治体もあるなか、そのメリットを活かさない理由がわかりません。プロスポーツ団体と共に、シビックプライドを高められるよう、協業・協働で活動を推進していくべきと考えます。	日野市のスポーツを支える人々には、代表する団体やボランティアなどを紹介させていただきましたが、支えるという観点からプロスポーツも含まれると考えています。 また、プロスポーツチームとの協働については、日野市としてもまだまだ課題がありますので、スポーツ振興に向けてプロスポーツチームと行政で協働し、お互いの強みを生かしながら、様々な課題の解決に努めてまいりたいと思います。	市の考え方は左記のとおりとなりますので、ご意見として受け止めさせていただき、計画素案の変更等はありません。
30	41	P41. (1) 日野市を拠点に活動する現在、日野レッドプロスポーツチームについて →本資料で応援を要請すること自体を否定するものではありませんが、より具体的な支援や応援を自治体自らがプロチームと共に行っていくべきと考えます。「「観る」ことでスポーツが好きになってもらう機会の創出」とも後述し、触れ合う機会を創出するとありますが、それだけでは有益な活用に至れていないと考えます。	プロスポーツチームとの関わり方や応援の仕方については、自治体としてもまだまだ課題があります。 今後は、その課題の改善に努めつつ、プロスポーツチームと協働して、市民の皆様に、スポーツチームの魅力の発信し、会場までに応援に行きたいと思えるような取り組みを積極的に検討して参ります。	市の考え方は左記のとおりとなりますので、ご意見として受け止めさせていただき、計画素案の変更等はありません。
31	49	P48. 3、スポーツのまち日野をめざしてキアスリート・指導者の発掘・育成 →日本スポーツ協会や競技団体の方法論や資格取得支援を活用すべきと考えます。	ご指摘のとおり、日本スポーツ協会や競技団体と連携し、アスリート・指導者の発掘を行っております。また、軟式野球審判講習会、サッカー4級審判講習会、スポーツ指導者講習会などを実施しております。	市の考え方は左記のとおりとなりますので、ご意見として受け止めさせていただき、計画素案の変更等はありません。

32	51	<p>P51.一方、厳しい財政状況が～検討して参ります。→スポーツ産業の育成・活性化や活動の持続性等の観点から、自治体負担による市民サービスとしてスポーツ機会を提供し続けることは、より一層議論を尽くすべきと考えます。よって、あり方を検討していく事項としては、施設のみならず、コストセンターではなく、プロフィットセンターや財源としてスポーツを取りあつかう点についても検討を行い、実施すべきと考えます。 例：施設のネーミングライツ権の販売や指定管理者の競争入札に際するスポーツ活用施策の促進など。</p>	<p>現在も、指定管理者の競争入札や各種補助金を活用して、施設の整備や事業の実施などを行っております。スポーツを実施するための財源確保は、すべての施策に関係する内容のため、基本施策の下に設定するものではないと考えるため、日野市のスポーツにおける「課題」についてで補足いたします。</p>	<p>ご意見を参考に修正いたします。</p>
33	55	<p>P55.「デジタル技術」を意味しています。→説明書が大変乱暴な印象を受けます。DXの記載について、スポーツ庁や経済産業省、総務省等の定義を参照しながら記載すべきと考えます。このままでは閲覧者・読者に語弊・誤解を与えかねません。</p>	<p>DXについての説明が不足しており大変申し訳ございませんでした。 読み手がわかりやすいように説明を追記させていただきます。</p>	<p>ご意見を参考に修正いたします。</p>

34	56	P56. 野球場の整備の検討 →何故野球場が検討対象なのか、合理的な説明を示していただきたい。	<p>日野市の野球用のグラウンドは、6か所あります。また、小中学校のスポーツ開放でも、野球用として校庭を活用しています。しかしながら、大人がプレーできる軟式野球場は多摩川グラウンドに限られ、硬式野球場は東光寺グラウンドで少年野球の団体が利用できるのみとなっています。土日祝日は大会や練習などで、少年から還暦を超えた方々まで、大変多くの皆様にご利用いただいているため、現状では野球場が不足し、市民大会や各連盟の試合等の調整にも大変苦慮しています。また、利用団体からも、子どもたちから高齢者までが野球を楽しめるよう整備を求める要望をいただいています。さらに、日野市では体育館やサッカー場、陸上競技場などは整備されてきたものの、他市と比べると野球場が不足している現状もあります。以上の理由から野球場の整備の検討が対象となっています。</p>	<p>市の考え方は左記のとおりとなりますので、ご意見として受け止めさせていただき、計画素案の変更等はありません。</p>
35	62	P62.民間スポーツチームとの相互連携 →スポーツ普及の意味合いとして、特定競技の普及を意味しているのか、スポーツ実施率の引き上げなのか、明確に示していただきたい。先の意見でも示した通り、繰り返しになりますが、市内のプロスポーツ団体や企業スポーツを積極的に巻き込み、スポーツ推進の連携先ではなく主体者として協業・協働すべきと考えます。	<p>こちらについては、プロスポーツチームとの連携を通じて、市民の方にスポーツを「する」「観る」「支える」機会を創出し、かつスポーツ実施率の向上へと繋げていくことを目的としています。</p> <p>また、同時に地域課題についても行政と民間スポーツチームでお互いの強みを生かして解決できるよう取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>そして、今後、その目的を果たすべく、プロスポーツチームと積極的に協働し、スポーツの普及に努めて参ります。</p> <p>以上の内容を踏まえて、概要の説明について補足させていただきます。</p>	<p>ご意見を参考に修正いたします。</p>

36	63	<p>P63.ヘルスケア関連のデータ活用の仕組みなども研究 →一つの市の中で行うべきではないと考えます。厳しい財政状況と本計画中で示している中、本件を日野市だけで推進することは賛同しかねます。</p>	<p>ご指摘は2点あるものと受け止めました。1点目はデータの利活用や仕組みについての実現可能性というところかと思えます。一自治体の中で完結すべきものではありませんし、同様に単一の企業、大学、団体だけで実装できるものではないという認識です。そのため、民間団体と共に、という記載としておりますし、民間だけでなく国や他自治体との広域での連携なども本件に関しての重要な条件になるものと考えます。</p> <p>2点目は財政状況という視点かと思えます。具体的な取組みの検討にあたっては上記の実現可能性を踏まえた上で、将来的なコスト削減につながるかが重要な視点となります。従いまして、財政的メリットにどうつながるかを十分に検討した上で実施可否を判断していくものであると考えます。</p> <p>以上の内容を踏まえて、概要の説明についてよりわかりやすい文章にするため、見直しを行います。</p>	<p>ご意見を参考に修正いたします。</p>
37	66	<p>P66. 日野市のスポーツ推進体制 →「第2次日野市スポーツ推進計画策定委員会設置要綱」に照らしても、プロスポーツクラブや企業スポーツの方々が含まれていないように見受けられました。今後はスポーツ推進体制に含めるべきと考えます。</p>	<p>第2次日野市スポーツ推進計画の策定にあたっては、プロスポーツクラブ、民間スポーツ施設、障害者団体、大学等へヒアリングを実施しました。</p> <p>今後、第3次日野市スポーツ推進計画策定委員会の委員構成を考える上で参考とさせていただきます。</p>	<p>市の考え方は左記のとおりとなりますので、ご意見として受け止めさせていただきます、計画素案の変更等はありません。</p>